

“ 一度きりのお子様ランチ ” （東京ディズニーランド）



「東京ディズニーランド」の世界バザールにあるレストランで実際にあったお話です。

2人連れの若い夫婦が、レストラン「イーストサイド・カフェ」に食事に行きました。キャスト（ウェイトレス）が、2人を2人掛けのテーブルに案内してメニューを渡しました。2人は、Aセット1つとBセット1つ注文しました。オーダーし終わったとき、奥様が追加注文しました。「お子様ランチを1つください。」

と……。キャストは「お客様、誠に申し訳ございませんが、お子様ランチは小学生のお子様までと決まっておりますので、ご注文はいただけないのですが……。」と丁寧に断りました。すると、2人は顔を見合わせて複雑な残念そうな表情を浮かべました。その表情を見てとったキャストは「何か他のものではないかがでしょうか？」と聞きました。すると、2人はしばらく顔を見合わせ沈黙した後、奥様が話し出しました。

「実は、今日は昨年亡くなった娘の誕生日だったのです。私の身体が弱かったせいで、娘は最初の誕生日を迎えることもできませんでした。子どもがおなかの中にいる時に主人と3人でこのレストランでお子様ランチを食べようねって言っていたんですが、それも果たせませんでした。子どもを亡くしてから、しばらくは何もする気力もなく、最近やっと落ち着いて、亡き娘にディズニーランドを見せて、3人で食事をしようと思ったものから……。」

その言葉を聞いたキャストは、2人を4人掛けのテーブルに案内しました。仲間に相談して全員の賛成を得て、お子様ランチのオーダーを受けました。そして、小さな子ども用の椅子を持ってきて「お子様の椅子は、お父様とお母様の間でよろしいでしょうか？」と椅子をセットしました。その数分後……、「お客様、大変お待たせしました。ご注文のお子様ランチをお持ちしました」と、テーブルにお子様ランチを置いて笑顔で言いました。

「どうぞ、ご家族でごゆっくりお楽しみください。」

数日後、お客様から会社に感謝の手紙が届きました。

「お子様ランチを食べながら、涙が止まりませんでした。こんな体験をさせていただくとは夢にも思いませんでした。これからは涙を拭いて生きて行きます。また行きます。今度はこの子の弟か妹を連れて……。」

「しあわせを感じる喜び」 林 覚乗（文芸社）

